

第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 達成目標進捗調査票

資料 3

				第2次計画			第3次計画					
目標設定	達成目標	単位		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R14	R5年度成果	今後の方向性
家庭系ごみ (集団回収を含む) 減量目標	令和元年度比 で市民1人1日 当たり44.2g (8.0%)の減量	g/人・日	目標値				546.2	534.4	519.2	509.0	【令和5年度目標値との比較】 R5年度目標値534.4gに対して、R5年度実績値は490.6gとなり、目標値を達成することができた。 主に、指定ごみ袋制度の変更や物価など景気変動による影響が考えられる。	市制施行70周年記念事業の関連事業として開催する「エコライフフェア草津」等のごみ問題を考える草津市民会議と連携した啓発事業や、ごみ分別アプリ等の媒体を通じて、引き続き、さらなるごみの減量や分別の徹底に向けた啓発を推進する。
			実績値	553.2	557.4	542.8	515.4	490.6 ▲5. 1%	—	—	【前年度との比較】 R4年度実績値515.4gに対して、R5年度実績値は490.6gとなり、ごみ排出量は減少した。 主に、焼却ごみ類の排出量が減少したため。	
事業系ごみの 減量目標	令和元年度比 で市民1人1日 当たり15.9g (6.1%)の減量	g/人・日	目標値				258.7	252.4	244.3	244.3	【令和5年度目標値との比較】 R5年度目標値252.4gに対して、R5年度実績値は233.4gとなり、目標値を達成することができた。 主に、ごみの減量・リサイクルに向けた事業者への訪問指導等により、事業系ごみ排出量が抑えられていることによるものと考えられる。	引き続き、排出事業者への減量指導を行うなど、ごみの発生抑制と再使用に向けた取組を進める。
			実績値	260.2	232.4	239.6	240.0	233.4 ▲2. 8%	—	—	【前年度との比較】 R4年度実績値240.0gに対して、R5年度実績値は233.4gとなり、ごみ排出量は減少した。 新型コロナウイルス感染症の自粛緩和により、事業系ごみ量が増加傾向にあったものの、搬入手数料を改定するとともに、排出事業者に対し、減量指導を行った結果、事業系ごみ排出量が抑えられていると考えられる。	

※目標値と実績値に記載の数値は、国勢調査の人口で算出しているのに対し、第2次計画の目標値は住民基本台帳の人口で算出していることから、令和元年度から令和3年度までの目標値は記載していません。

●各施策の減量効果(家庭系焼却ごみ類)

【考え方】

近隣自治体および類似団体(人口や産業構成が似た自治体)の平均的な焼却ごみ類の原単位の減少率を本市と比較し、その差を本市の施策効果によるものと推計する。

★近隣自治体および類似団体の平均・・・▲3. 3%

☆草津市・・・▲6. 0%

⇒ 近隣自治体および類似団体の平均との差、およそ▲2. 7%が下記の施策によるもの

重点施策1－1 焼却ごみ類指定袋の有料購入への変更 およそ▲1. 4%

重点施策2－2 収集日の統合による効率的な収集(古紙類) およそ▲1. 3%(収集増加量から積算)

●各施策の減量効果(事業系一般廃棄物(可燃ごみ))

【考え方】

類似団体の平均的な事業系ごみの原単位の減少率を本市と比較し、その差を本市の施策効果によるものと推計する。

★類似団体の平均・・・▲0. 4%

☆草津市・・・▲2. 8%

⇒ 類似団体との平均との差、およそ▲2. 4%が下記の施策によるもの

重点施策1－3 事業系ごみ処理手数料の見直し